

日本一子どもを産み育てやすい まちを目指して

公立放課後児童健全育成室の待機児童ゼロを目指して

■ 補正予算の概要

平成31年度の公立放課後児童健全育成室の利用申請者が定員を超える状況にあり、放課後児童健全育成室内の備品を整理し、有効面積を拡大することにより、待機児童の発生を防ぎます。

	補正前	補正により	補正後	補正前	補正後
	利用面積	確保する面積	利用面積	定員数	定員数
志多見小	44.1	9.5	53.6	25	32
大越小	43.9	9.5	53.4	25	32

○志多見小は、有効面積を確保するため、児童用ロッカー（2段）の代わりにスチールロッカー（4段）を入れ荷物を集約する。破損したテレビ台を入れ替えます。

（ジョイントマット、座卓、ロッカー、スチールラック、靴箱、テレビ台を購入）

○大越小は、有効面積を確保するため、廊下の下駄箱の一つを取り外し、そこに保育室のスチールラックを移転する。外した下駄箱とその上に置いてある備品等を入れる物置を購入し納めます。

（物置、ジョイントマットを購入）

■ 補正予算額

賃金 667 千円（補正後予算額：190,393 千円）

＜補正後予算額の財源：国（34,510 千円）、県（34,510 千円）、

保育料（47,543 千円）、市（34,995 千円）＞